

「令和7年度 補助金申請システムの運用及び保守等業務」意見招請結果に対する回答

項番	種類(※)	該当資料名	頁数	章番号等	仕様書等の記載内容	意見又は修正案の内容	意見又は修正案の提出理由	回答
1	意見	仕様書_R7年度運用保守	P.8	3.2 運用・保守業務	システム稼働に必要な改修等を行い、適切に稼働させること。稼働環境については、・・・(以下略)	本調達仕様書を確認しましたところ、一般的なシステムの運用保守内容に限られると理解しました。一方で、Jグランツに蓄積されたデータを分析・活用することで、より利用者の満足度が高いシステムを実現することが可能と考えます。例えば、レコメンド機能などを見据え、利用者属性や補助金情報を分析することも有効かと思いますが、これらの分析業務は、本調達の業務範囲となりますでしょうか？また将来的にこれらの業務を実施する予定はございますでしょうか？	補助金に関して、より高度な行政判断や不正受給の防止ができるようになることは重要と考えるため。現時点で制度上難しいとのことであれば、将来的に活用できるような検討(個人情報を含まない事業者情報の利活用)を行うことが望ましいと考えます。	レコメンド機能等、補助金検索性の向上については開発の検討をしており、本調達とは別に調達をかける予定としております。
2	確認・質問	仕様書_R7年度運用保守	6	3.2.1.	システム稼働に必要な改修等を行い、適切に稼働させること。稼働環境については、令和6年度期末までに構築した環境と同等の機能を有する環境等(契約移管ができないもの(テナントが異なる環境の場合など)は環境の移行を含む)を受注者が提供するものとする。	令和6年度期末までに構築した環境と同等の機能を提供するにあたり、「システムの稼働環境の整備と稼働」の項目に記載がある製品について、令和7年度の運用・保守業務で想定される利用ライセンスと数量をご教示いただけますでしょうか。または、資料閲覧にて確認可能でしょうか。	提案構成の検討、費用試算に影響するため。	利用ライセンスとその数量につきましては資料閲覧にて確認可能でございます。
3	確認・質問	仕様書_R7年度運用保守	7	3.2.1. 【その他留意事項】1.	性能については令和5年度補助金申請システムの運用及び保守等業務と同程度が満たされる環境を用意すること。	性能検証を行う環境は、開発業務では使用しない運用保守業務独自のものを用意・構築する理解で正しいでしょうか。	提案構成の検討、費用試算に影響するため。	性能検証を行う場合に運用保守業務独自の環境を用意する必要はなく、既に存在する検証環境を用いて実施することを想定しています。
4	要望	仕様書_R7年度運用保守	7	3.2.1. 【その他留意事項】1.	性能については令和5年度補助金申請システムの運用及び保守等業務と同程度が満たされる環境を用意すること。	性能検証環境を現行事業者から引き継ぐことが出来ない場合、同程度の性能を担保するため、「令和5年度補助金申請システムの運用及び保守等業務」において用意した環境リストをご提供頂けませんでしょうか。	提案構成の検討、費用試算に影響するため。	現行事業者からの引継ぎを想定しております。
5	確認・質問	仕様書_R7年度運用保守	7	3.2.1. 【その他留意事項】1.	AI-FAQポット等のサービスでは、名義変更等による所有権移行ができないため、同サービスの購入と初期設定作業が発生することに留意すること。	同サービスの購入と初期設定作業を行う上で、現行利用しているサービスのデータエクスポート(AI-FAQポットについては問合せ履歴を含む)は、現行事業者が行う理解で正しいでしょうか。	対象サービスの初期設定作業範囲を明確にするため。	ご認識のとおりです。
6	確認・質問	仕様書_R7年度運用保守	12	3.4.	システム導入の操作サポートは1回当たり1時間・原則オンライン形式を想定している。	操作サポートの実施頻度について、目安又は実績値等をご教示いただけますでしょうか。	過去仕様書と比較して頻度の記載が削除されており、実施頻度が低い可能性がある。頻度が低い場合には、コスト削減に資するため。	R6年度においては利用検討事務局向けに1時間のオンライン説明会を月に1回の頻度で実施しております。その他、検討に際して個別の確認事項がある事務局に対しては個別相談会(R6.11末時点で20件)を実施しております。

項番	種類(※)	該当資料名	頁数	章番号等	仕様書等の記載内容	意見又は修正案の内容	意見又は修正案の提出理由	回答
7	確認・質問	仕様書_R7年度 運用保守	13	3.6.1.	また、運用保守を開始するにあたり、アプリケーション開発時の変更申請、承認、実施、検証のプロセスが書かれた管理手順書を作成することを必須とする。	本記載の作業内容について、実施目的及び実施主体をお伺いします。本記載は、受注者及び他事業者等がアプリケーション開発時の申請又は管理等に使用するための「管理手順書」を、他事業者ではなく受注者が、現行事業者に対する引継受けの計画を立てる際に併せて作成する、という理解でよろしいでしょうか。	作業内容および役割分担を明確にするため。	ご認識のとおりです。
8	確認・質問	別紙3_非機能要件一覧	-	A.1.1.3	計画停止無し  システムを停止できる時間帯が存在しないこと。	別紙3_非機能要件一覧A1.1.3では「計画停止無し」が要件化されていますが、仕様書3.2.1「その他留意事項」(6)には「計画停止期間を除く」と記載されており、計画停止期間の存在を許容しているとも読み取れます。非機能要件一覧に記載の通り、本調達においては「計画停止無し」が要件であると理解してよろしいでしょうか。	非機能要件を明確にするため。	計画停止無しが要件であると理解いただいて問題ありません。
9	確認・質問	仕様書_R7年度 運用保守	6	3.2.1	稼働環境の整備と稼働  改修に伴い、運用対象範囲となるシステム環境や資材、その他必要なソースコードやガイドラインなど、構成管理のドキュメントを受注者が提供するものとする。また、その際GitHub(もしくは同等サービス)へのアクセスを当庁に許可すること。(アカウントは3人程度を想定)	貴庁がGithub(もしくは同等サービス)へアクセスについては、他事業におけるjGrantsの機能改修等を想定されていますでしょうか。そのほかの想定があればご教示をお願いいたします。	本事業の業務実施にあたり確認が必要な事項のため。	R7年度開発で機能改修があります。運用保守側とのソースコード共有等は今後3者含めて検討が必要になります。
10	確認・質問	仕様書_R7年度 運用保守	2	1.3調達目的	表1. 本システムの利用実績	R7年度に想定する申請件数や掲載補助金数については記載がありませんものの、あらかじめ体制等の準備を想定する規模感はありませんでしょうか。	本事業の業務実施にあたり確認が必要な事項のため。	表1. 本システムの利用実績及び3.3.1問合せ対応に係る業務の参考値を参考に体制のご検討をお願いいたします。